

2008 年度

科目名 社会福祉援助技術演習Ⅱ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 農野 寛治
授業テーマ ケア・マネジメントの意義と技法、その実際を学ぶ		
授業の概要と目標 福祉援助を求めている人たちにとって、地域における生活支援が求められている現在、その重要な手法であるケア・マネジメントを理解することを目的とする。授業では、事例の見立て（アセスメント）と社会資源の把握を中心に、ケアマネジメント・プロセスの理解と習得へと展開するため、受講者自身の積極的な参加が前提となる。		
評価方法 平常点（出席状況はもちろんのこと、受講態度、提出物等）による評価を行う。		
テキスト 使用しない。	著者	出版社
参考書 適宜紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① ケア・マネジメントの考え方と意義 ② 福祉問題の理解と把握 ③ ケア・マネジメントのプロセス ④ インテーク（契約・情報の収集） ⑤ アセスメントの視点と内容（当事者の視点と生活システムにおける逆機能） ⑥ ケアプランの策定 ⑦ 社会資源の把握（フォーマル・インフォーマル） ⑧ 環境調整とアドボケイト ⑨ モニタリングとフォローアップ ⑩ 再アセスメントの手順と終結 ⑪ 高齢者福祉における介護支援事例を考える ⑫ 障がい者福祉における自立支援事例を考える ⑬ 母子福祉における自立支援事例を考える ⑭ 児童福祉における自立支援事例を考える ⑮ 生活保護家庭における自立支援事例を考える		